



2024年12月期

第3四半期

決算説明資料

2024年11月7日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

Copyright ©2024 SEPTENI HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved.

- 01 エグゼクティブサマリ
- 02 2024/12期 3Q累計期間連結決算概要
- 03 四半期連結決算概要
- 04 デジタルマーケティング事業
- 05 メディアプラットフォーム事業
- 06 業績予想に対する進捗状況
- 07 補足資料

ファクトシートのダウンロードは[こちら](#) (xlsx形式)

2023年12月期より、IPプラットフォーム事業を非継続事業に組替表示しているため、収益、営業利益、Non-GAAP営業利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示しております

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております

デジタルマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用等の買収行為に関連する損益

及び株式報酬費用、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております

01

エグゼクティブサマリ

FY2024/3Q 累計実績

- 3Q累計の売上高は前期比**+8.1%**の成長、収益は**+2.7%**の増収
- 人件費を中心としたコストの増加を吸収できず、**-15.2%**の営業減益
- 子会社の一部株式売却もあり**親会社所有者帰属当期利益、EPSは大きく増加**

FY2024 業績予想修正

- 対売上高収益率は足元で回復しながらも、改善効果の顕在化に時間を要しており、収益は約**9%**の下振れを見込む
 - Non-GAAP営業利益も約**36%**の下振れとなり、**FY2024通期業績予想を下方修正**
- ➡足元での対売上高収益率の改善、事業ポートフォリオの見直しや生産性向上に向けたコストコントロール実施により、来期での増益転換を目指す

FY2024 期末配当予想

- FY2024期末配当は前回決算発表時の増配修正で決定した**1株あたり配当金 31.35円**で据え置き

05 2024年12月期 通期業績予想の修正 (連結)

売上高は拡大している一方、対売上高収益率や生産性の低下を背景に
収益、Non-GAAP営業利益の期初予想との乖離が広がり、業績予想を下方修正

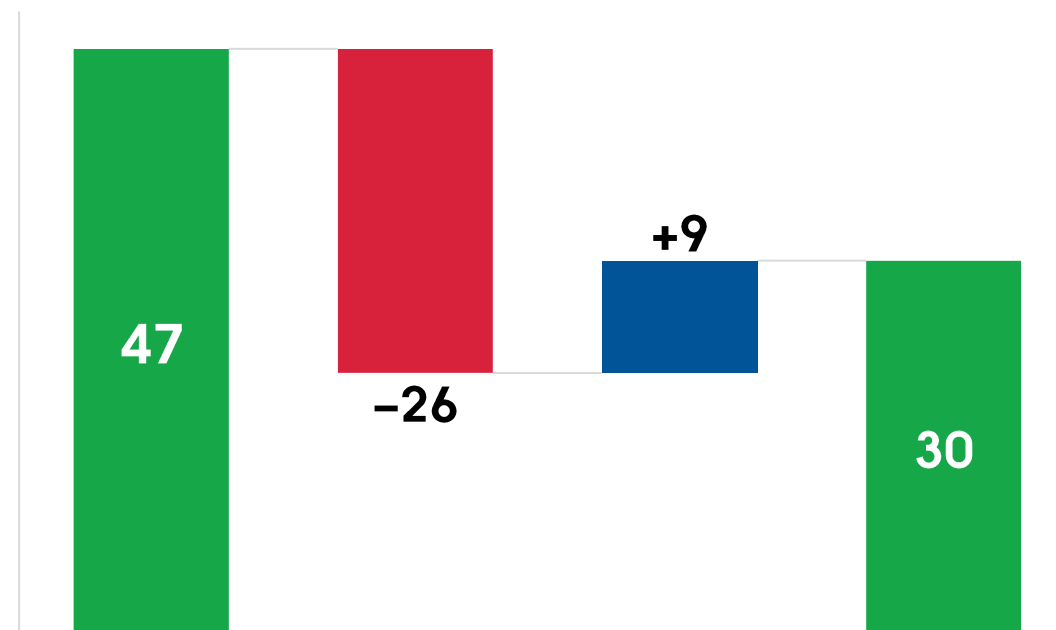
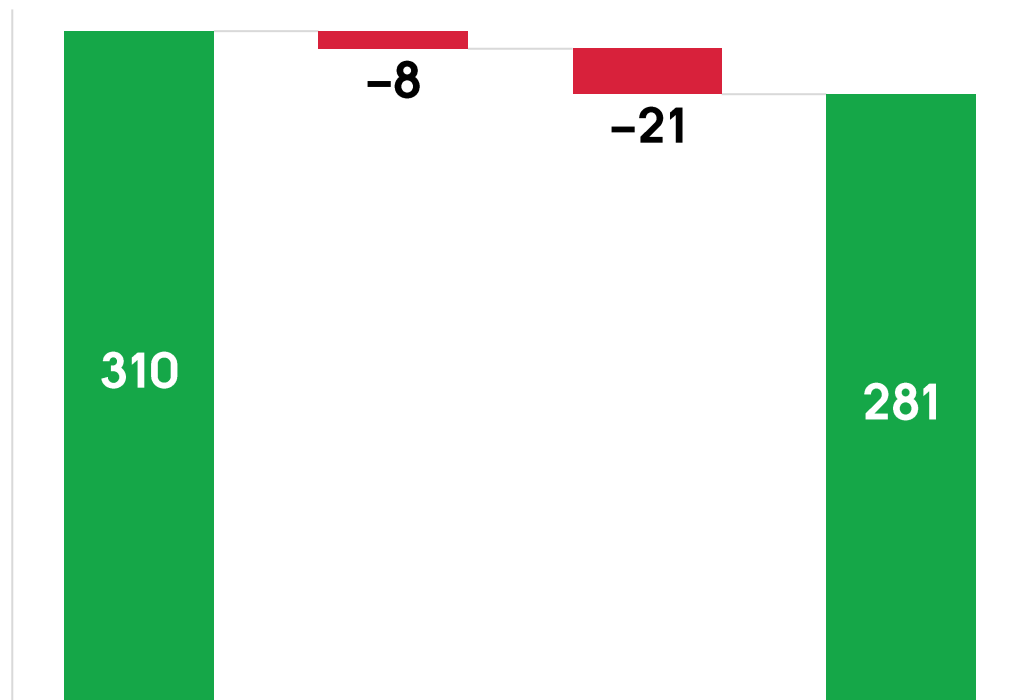
(単位：百万円)	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B/A・%)	CY2023 実績 ^{※1} (C)	前期比 (B/C・%)
収益	31,000	28,100	△2,900	△9.4%	27,674	+1.5%
Non-GAAP営業利益	4,700	3,000	△1,700	△36.2%	4,016	△25.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	6,500	5,150	△1,350	△20.8%	3,736	+37.8%
1株当たり当期利益 (EPS) (円)	31.35	24.84	△6.51	—	17.97 ^{※2}	(+6.87)
【参考】 売上高	150,000	146,200	△3,800	△2.5%	138,036	+5.9%
対売上高収益率	20.7%	19.2%	△1.4Pt	—	20.0%	(△0.8Pt)
1株当たり配当金 (円)	31.35	31.35	—	—	—	—
配当性向	100%	126.2%	—	—	—	—

収益を伸ばしきれず、販管費を抑制するも下振れ

収益

Non-GAAP営業利益

(単位：億円)



前回発表

売上高の減少

対売上高
収益率の低下

修正後予想

前回発表

収益の下振れによる
売上総利益の減少

販管費の抑制

修正後予想

高成長実現のための各事業・領域への成長投資の積極的な実行と
充実した株主還元の両立を目指し、**還元方針のアップデートを決定**

今後のアロケーションの考え方

成長投資

- ・オーガニック成長、新規事業創出に向けた投資
- ・デジタルマーケティング事業の各領域の成長に向けたM&Aを積極的に実施

→2024年12月期は次の数年で戦略的に**成長投資を行うための準備期間**とする

株主還元

- ・FY2025以降は従来の配当性向25%から50%以上へ引き上げ、大幅な還元強化を実施
- ・流通株式比率との兼ね合いを見ながら、機動的な自己株式取得の検討と実施

FY2024は次の数年で戦略的に成長投資を行うための準備期間と位置づけ、
子会社株式の売却益による当期利益押し上げ効果もあるため、
BSマネジメントを推進すべく、前回公表どおり65億円全額を配当

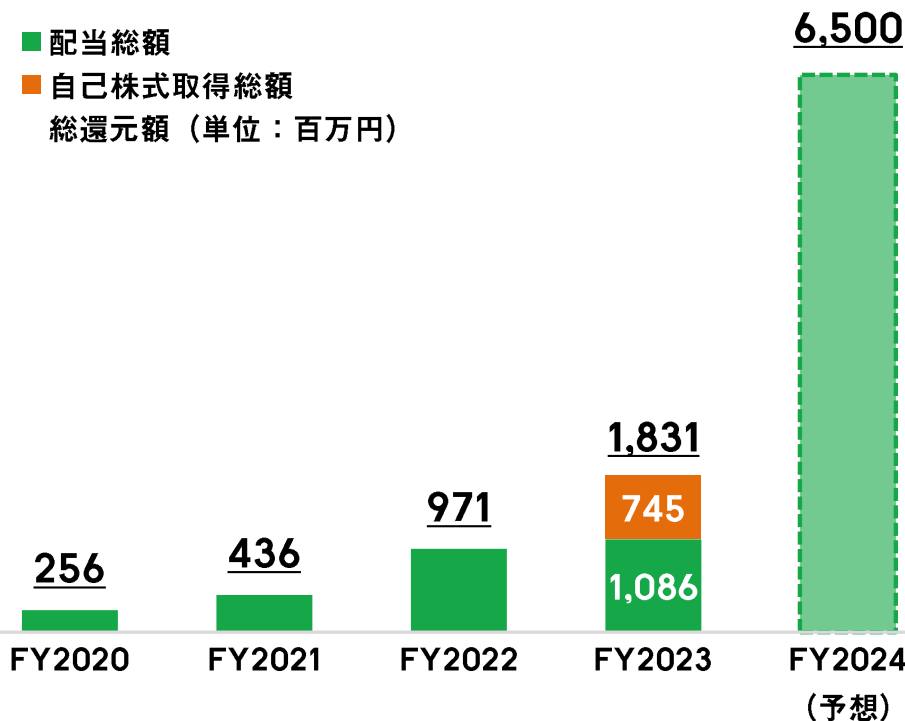
FY2024の株主還元方針

配当総額 **65** 億円 (配当性向126.2%)
(子会社株式売却益も含む)

FY2024期末配当予想

	今回予想	前期実績
1株当たり 配当金	31.35円	5.20円

総還元額推移



02

2024/12期 3Q累計期間連結決算概要

10 FY2024/3Q累計（1-9月）ハイライト（非継続事業組替え後）

- 売上高はマーケティング・コミュニケーション領域のけん引により過去最高※を更新
- 対売上高収益率が低下するも、収益は前年同期比で増収
- 2023年4月に実施したベースアップと新卒入社で人件費が増加し、3Q累計でも減益

	金額	前年同期比
収 益	20,887百万円	+2.7%
Non-GAAP営業利益	2,253百万円	-15.2%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,271百万円	+95.4%
1株当たり四半期利益（EPS）	20.60円	+10.12円
【参考】	売上高	108,883百万円 +8.1%
	対売上高収益率	19.2% -1.0Pt

11 FY2024/3Q累計（1-9月）ハイライト（非継続事業組替え後）

デジタルマーケティング事業

（単位：百万円）

金額

前年同期比

- マーケティング・コミュニケーション領域はオーガニック、電通協業それぞれが成長し増収
- データ・ソリューション領域もDX支援の開発案件が拡大し、増収
- 新卒など人件費増を吸収できず減益

収 益

19,666

+3.6%

Non-GAAP
営業利益

4,459

-5.5%

【参考】売上高

107,844

+8.2%

メディアプラットフォーム事業

（単位：百万円）

金額

前年同期比

- 事業ポートフォリオの見直しを進め、事業会社2社を4Qに連結除外

収 益

1,373

-8.1%

Non-GAAP
営業利益

-49

(-18)

12 FY2024/3Q累計（1-9月）連結P/L（非継続事業組替え後）



1Qに計上したコミックスマート(株)の一部株式譲渡に伴う株式売却関連益による押し上げにより親会社の所有者に帰属する四半期利益、EPSは大きく増加

(単位：百万円)	2024年12月期 3Q 累計（1-9月）			2023年 1-9月	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	20,887	100.0%	+2.7%	20,334	100.0%
売上総利益	16,518	79.1%	+2.3%	16,141	79.4%
販売管理費	14,336	68.6%	+5.8%	13,548	66.6%
Non-GAAP営業利益	2,253	10.8%	-15.2%	2,656	13.1%
営業利益	2,192	10.5%	-14.4%	2,559	12.6%
持分法投資利益等	915	4.4%	+28.6%	712	3.5%
継続事業からの四半期利益	2,051	9.8%	-19.1%	2,536	12.5%
非継続事業からの四半期利益	2,210	10.6%	—	-380	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,271	20.4%	+95.4%	2,186	10.8%
【参考】売上高	108,883	—	+8.1%	100,741	—

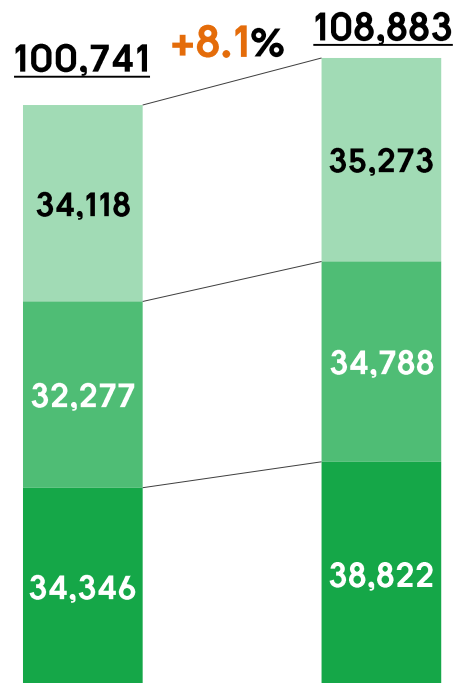
* IPプラットフォーム事業の業績を2023年1-9月実績においては非継続事業に組替表示、FY2024/2Q以降では各四半期末時点での当社持分に対する持分法投資利益を計上

13 FY2024/3Q累計（1-9月）連結業績推移

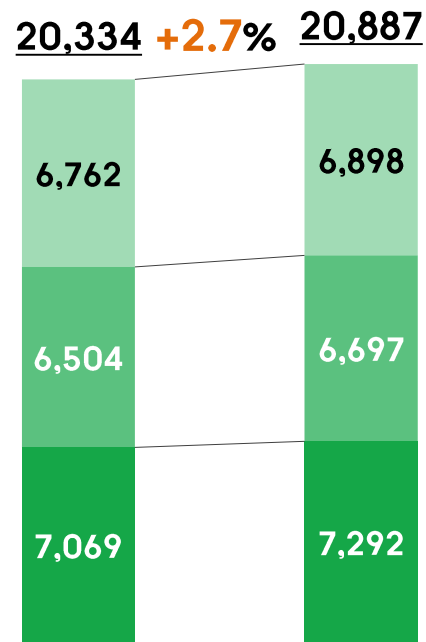
マーケティング・コミュニケーション領域のけん引により売上高、収益は増収となるも、人件費増を吸収しきれずNon-GAAP営業利益は減益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q (単位：百万円)

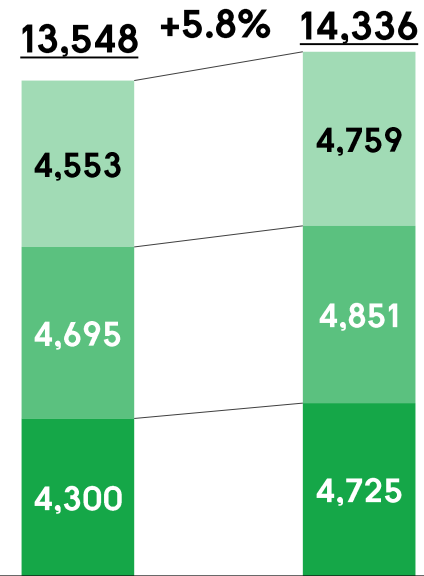
売上高



収益

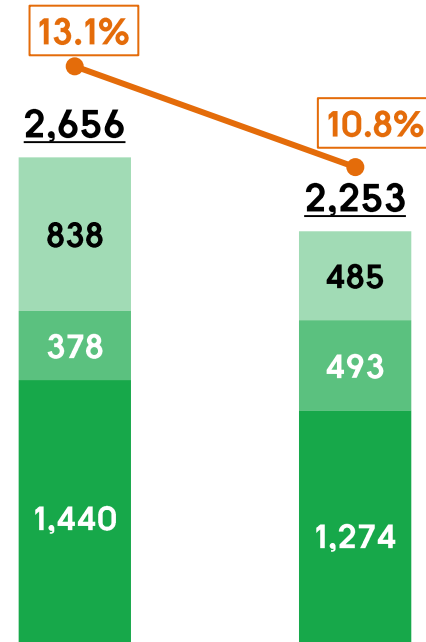


販売管理費



Non-GAAP営業利益

● 営業利益率 (対収益)



CY23/1-9月累計

24/3Q累計

CY23/1-9月累計

24/3Q累計

CY23/1-9月累計

24/3Q累計

CY23/1-9月累計

24/3Q累計

03

四半期連結決算概要

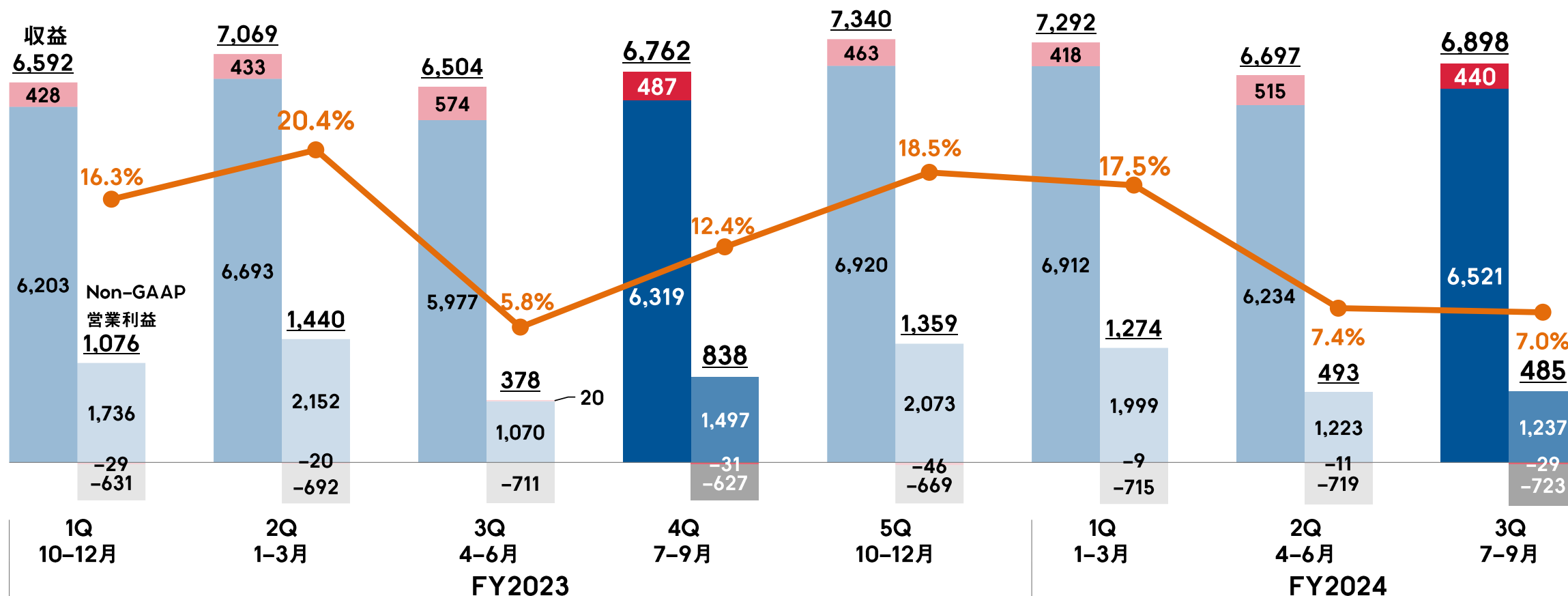
売上高の前年ハードルが高まる中、一部大手顧客の取り扱いが縮小し
成長率が鈍化するも増収

(単位：百万円)	2024年12月期3Q (7-9月)			2023年12月期4Q (7-9月)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	6,898	100.0%	+2.0%	6,762	100.0%
売上総利益	5,231	75.8%	-2.5%	5,363	79.3%
販売管理費	4,759	69.0%	+4.5%	4,553	67.3%
Non-GAAP営業利益	485	7.0%	-42.1%	838	12.4%
営業利益	450	6.5%	-45.2%	822	12.2%
持分法投資利益等	144	2.1%	-54.1%	313	4.6%
継続事業からの四半期利益	270	3.9%	-67.0%	817	12.1%
非継続事業からの四半期利益	—	—	—	-86	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	266	3.9%	-63.9%	738	10.9%
【参考】売上高	35,273	—	+3.4%	34,118	—

16 連結業績四半期推移（セグメント別・非継続事業組替え後）

デジタルマーケティング事業が増収するも減益、営業利益率も低下

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額（全社費用等）（単位：百万円） ● 営業利益率（対収益）



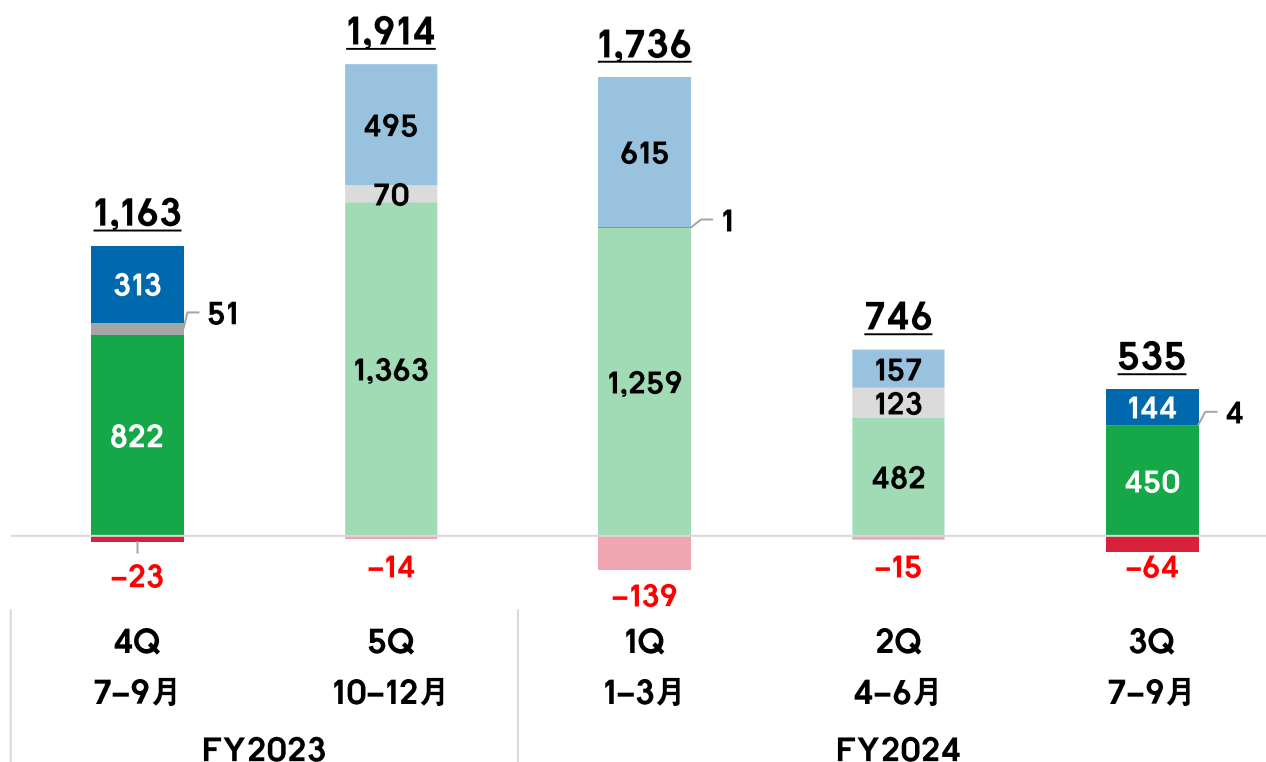
*セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

17 連結 税引前当期利益 四半期推移 (非継続事業組替え後)

電通デジタルにかかる持分法投資利益は軟調に推移

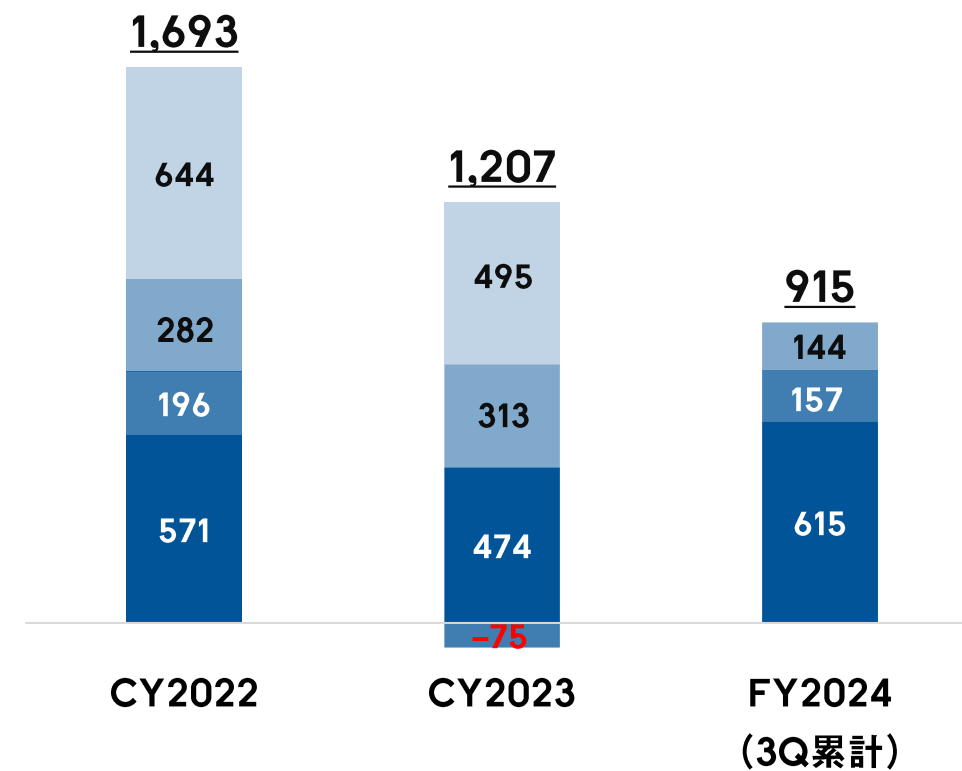
四半期推移

■ IFRS営業利益 ■ 金融収益 ■ 金融費用
■ 持分法投資利益 **税引前当期利益** (単位：百万円)



持分法投資利益・通期推移

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q 合計 (単位：百万円)



18 連結費用構成 (IFRS・非継続事業組替え後)

クリエイティブ制作にかかる外注費が増加したことに加え
人員数の増加に伴い人件費、その他販管費が増加

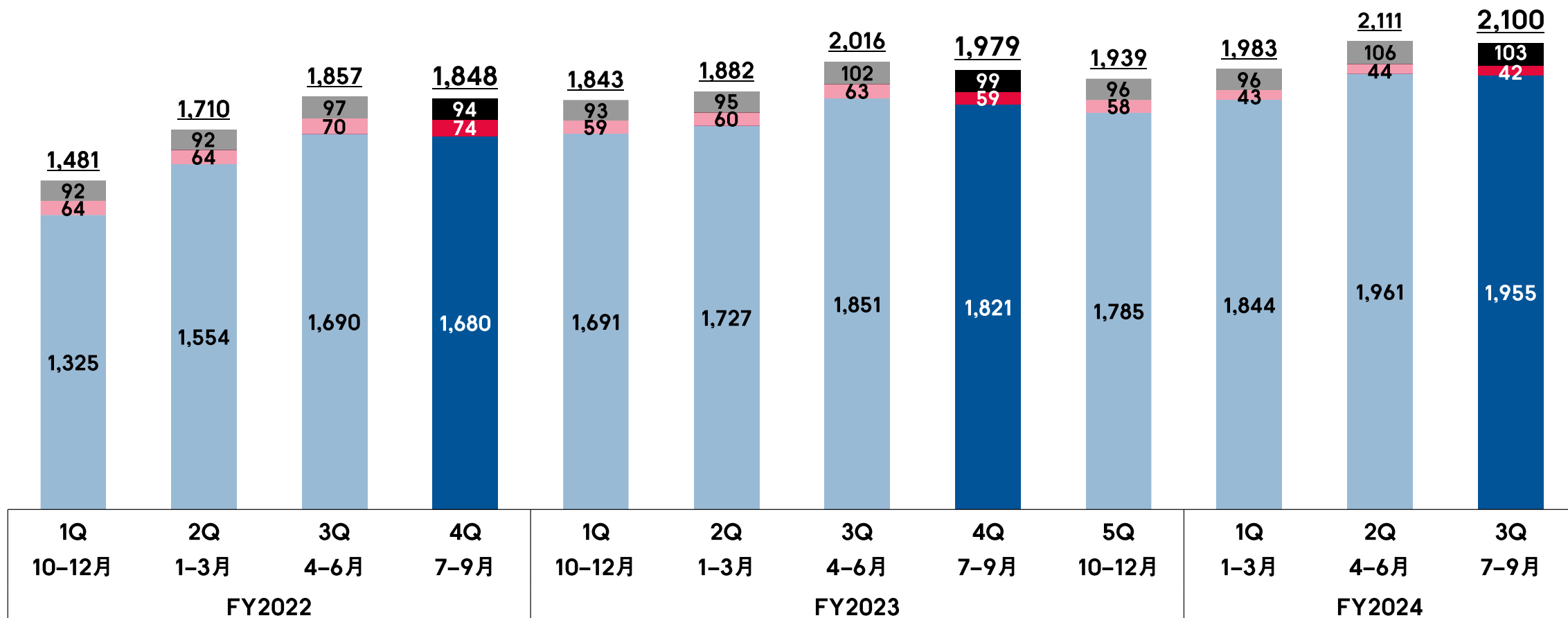
(単位：百万円)	FY2023					FY2024			QonQ	YoY
	1Q 10-12月	2Q 1-3月	3Q 4-6月	4Q 7-9月	5Q 10-12月	1Q 1-3月	2Q 4-6月	3Q 7-9月		
売上原価合計	1,232	1,370	1,424	1,400	1,374	1,310	1,392	1,668	+19.8%	+19.1%
人件費	393	408	453	442	439	422	443	430	-2.9%	-2.7%
外注費	545	659	623	650	596	592	606	932	+53.9%	+43.5%
その他	294	303	349	308	339	296	343	305	-11.1%	-0.9%
販管費合計	4,329	4,300	4,695	4,553	4,623	4,725	4,851	4,759	-1.9%	+4.5%
人件費 ※1	2,878	2,892	3,248	3,154	3,149	3,227	3,334	3,236	-2.9%	+2.6%
従業員賞与 ※2	147	155	148	195	204	177	130	156	+20.1%	-19.7%
賃借料等	293	284	297	294	295	266	266	267	+0.3%	-9.2%
販促費・広告費	160	124	154	164	157	180	198	193	-2.4%	+17.7%
租税公課	105	105	97	61	97	104	102	102	-0.4%	+67.6%
その他	747	740	751	685	721	772	820	804	-1.9%	+17.5%

※1 Non-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬 (BIP信託) を人件費として見積計上 ※2 業績連動賞与の見積も含む

19 連結従業員数推移

FY2023/3Qに実施したベースアップ効果により定着率が高水準で推移、
来期は中途採用の調整等により従業員数の適正化を図る

■ デジタルマーケティング事業 ■ メディアプラットフォーム事業 ■ 持株会社 (単位：名)



*IPプラットフォーム事業の非継続事業組替えに伴い、連結従業員数から除外

04

デジタルマーケティング事業

対売上高収益率は前四半期比で+0.6Pt改善するも、一部大手顧客の取り扱いの縮小により売上高の成長が鈍化し営業減益

(単位：百万円)	2024年12月期 3Q (7-9月)			2023年12月期 4Q (7-9月)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収益	6,521	100.0%	+3.2%	6,319	100.0%
売上総利益	4,929	75.6%	-1.7%	5,012	79.3%
販売管理費	3,703	56.8%	+4.9%	3,529	55.8%
Non-GAAP営業利益	1,237	19.0%	-17.4%	1,497	23.7%
売上高	34,944	—	+3.5%	33,772	—
【参考】 対売上高収益率	—	18.7%	±0.0Pt	—	18.7%
対売上高営業利益率	—	3.5%	-0.9Pt	—	4.4%

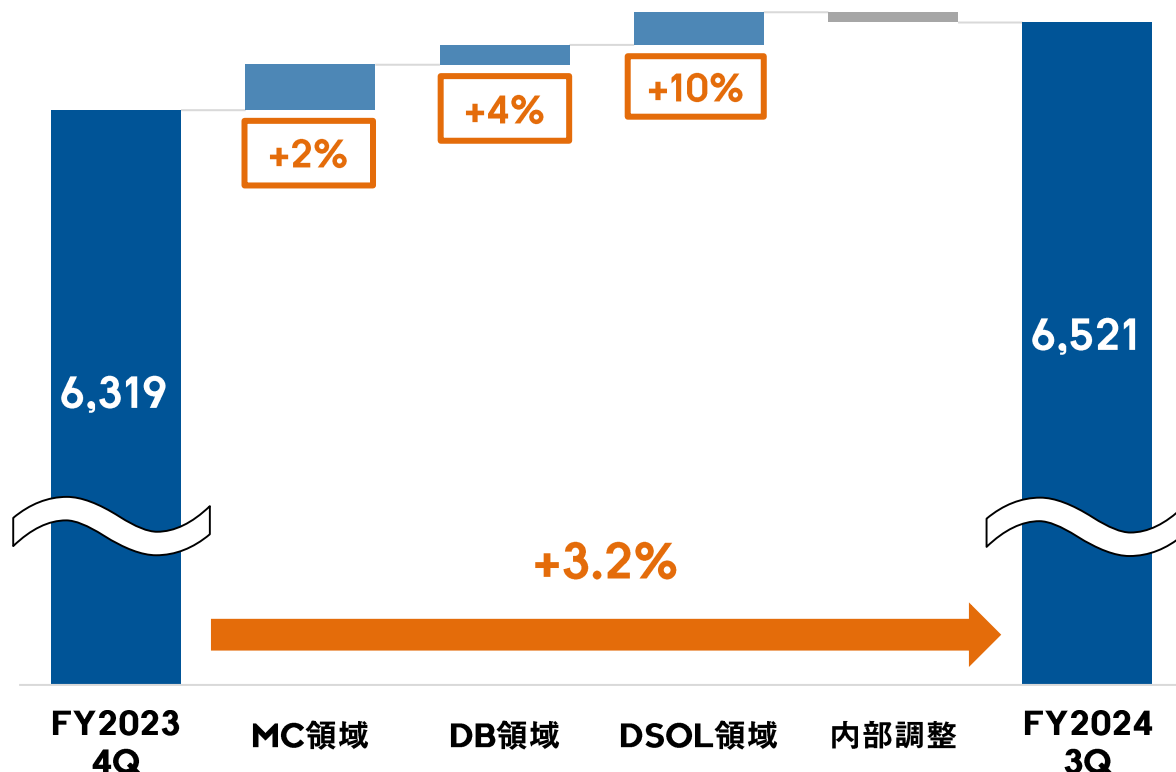
22 デジタルマーケティング事業 領域別増減内訳

データ・ソリューション領域は好調な一方、
マーケティング・コミュニケーション領域、ダイレクトビジネス領域は微増

収益

(単位：百万円)

各領域の前年同期比率



打ち手の進捗状況

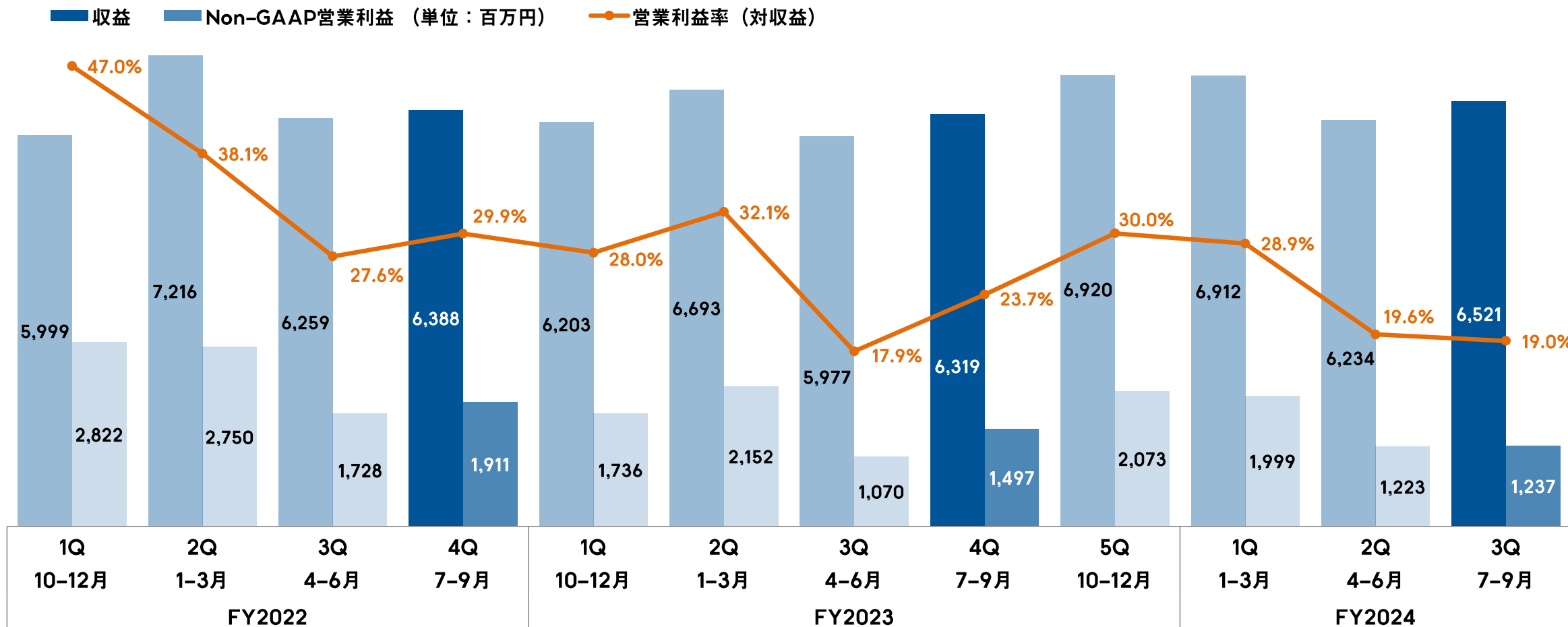
- 注力業種へのリソース集中
→ 新規案件は順調に獲得、既存顧客の増額を目指す
- オンオフ統合マーケティング提案の強化
→ 電通協業における新規顧客数が増加
- 粗利率の高いプロダクトの販売強化
→ 自社プロダクト販売額は堅実に成長

*MC領域：マーケティング・コミュニケーション領域、DB領域：ダイレクトビジネス領域
DSOL領域：データ・ソリューション領域

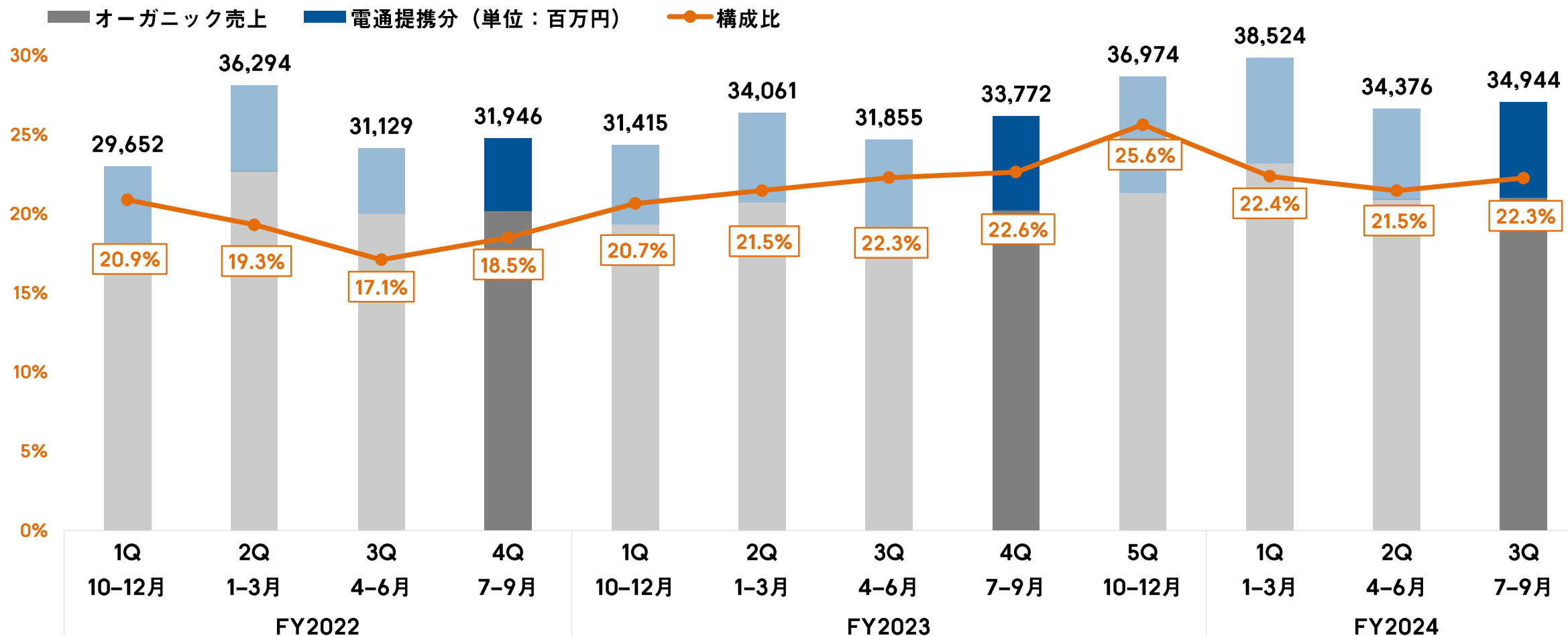
* 内部取引の処理が一部反映されていないため、領域ごとの前年同期比率は参考値

23 デジタルマーケティング事業 四半期業績推移

前期比で増収するも、営業利益率が低下



オンラインオフラインの統合提案が着実に拡大、新規顧客も増加し、社数、取扱高ともに前四半期比で増加



*FY2022/2Q以降、オーガニック売上に新規連結効果を含む

05

メディアプラットフォーム事業

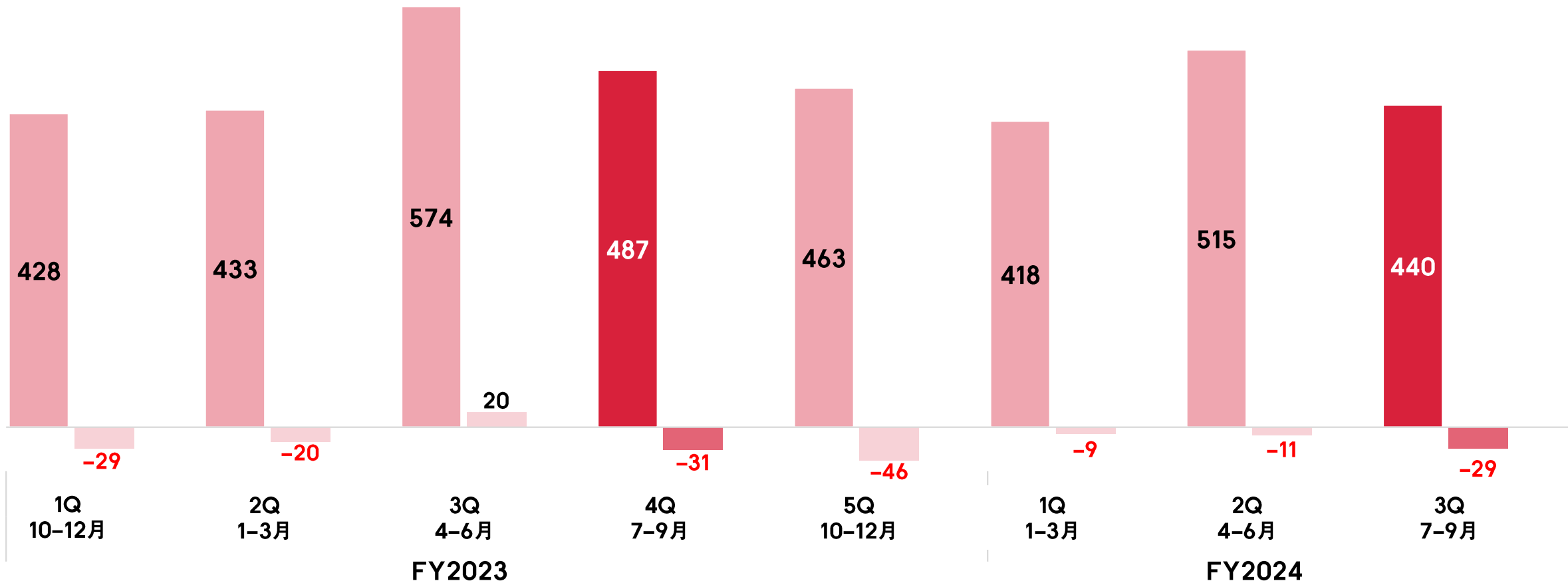
育児プラットフォーム事業、社会貢献プラットフォーム事業が減収、コストの見直しを進め、着実に赤字幅が縮小

(単位：百万円)	2024年12月期 3Q (7-9月)			2023年12月期 4Q (7-9月)	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	440	100.0%	-9.8%	487	100.0%
売上総利益	359	81.7%	-8.5%	392	80.5%
販売管理費	388	88.2%	-8.4%	424	86.9%
Non-GAAP 営業利益	-29	—	+2	-31	—

27 メディアプラットフォーム事業 四半期業績推移 (非継続事業組替え後) SEPTENI

メンズコスメ事業および育児プラットフォーム事業を手掛ける2社※を4Qに連結除外し、事業ポートフォリオの改編を推進

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 (単位：百万円)



※メンズコスメ事業：アルファブル、育児プラットフォーム事業：TowaStela

06

業績予想に対する進捗状況

売上高は拡大している一方、対売上高収益率や生産性の低下を背景に
 収益、Non-GAAP営業利益の期初予想との乖離が広がり、業績予想を下方修正

(単位：百万円)	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (B/A・%)	CY2023 実績 ^{※1} (C)	前期比 (B/C・%)
収益	31,000	28,100	△2,900	△9.4%	27,674	+1.5%
Non-GAAP営業利益	4,700	3,000	△1,700	△36.2%	4,016	△25.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	6,500	5,150	△1,350	△20.8%	3,736	+37.8%
1株当たり当期利益 (EPS) (円)	31.35	24.84	△6.51	—	17.97 ^{※2}	(+6.87)
【参考】 売上高	150,000	146,200	△3,800	△2.5%	138,036	+5.9%
対売上高収益率	20.7%	19.2%	△1.4Pt	—	20.0%	(△0.8Pt)
1株当たり配当金 (円)	31.35	31.35	—	—	—	—
配当性向	100%	126.2%	—	—	—	—

30 2024年12月期 通期業績予想の修正 (セグメント別)

デジタルマーケティング事業は対売上高収益率の改善が進行中であるも、今期については費用増を吸収できず、メディアプラットフォーム事業は事業ポートフォリオの見直し影響もあり、それぞれ下方修正

(単位：百万円)	収 益					Non-GAAP営業利益				
	前回発表 予想	今回発表 予想	増減率 (%)	CY2023 実績 [※]	前期比	前回発表 予想	今回発表 予想	増減率 (%)	CY2023 実績 [※]	前期比
デジタル マーケティング	28,900	26,600	△8.0%	25,908	+2.7%	7,500	6,100	△18.7%	6,791	△10.2%
メディア プラットフォーム	2,300	1,700	△26.1%	1,958	△13.2%	10	-90	(△100)	-77	(△13)
消去・全社	-200	-200	-	-192	-	-2,810	-3,010	-200	-2,698	(+312)
連 結	31,000	28,100	△9.4%	27,674	+1.5%	4,700	3,000	△36.2%	4,016	△25.3%

※ IPプラットフォーム事業の業績は非継続事業に組替表示

31 業績予想に対する進捗状況（連結）

連結

（単位：百万円）

収益

20,887

28,100

進捗率
74.3%

Non-GAAP
営業利益

2,253

3,000

進捗率
75.1%

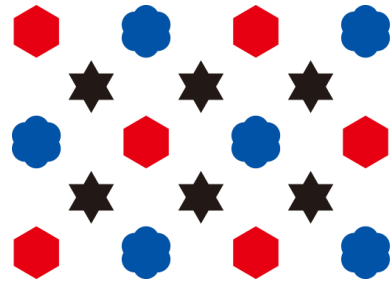
親会社所有者
帰属当期利益

4,271

5,150

進捗率
82.9%

本日はありがとうございました



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス CEOオフィスIR部

www.septeni-holdings.co.jp

E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2024年11月7日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

07

補足資料

34 四半期連結P/L (連結・非継続事業組替え後)



(単位：百万円)	FY2023										FY2024					
	1 Q (10-12月)		2 Q (1-3月)		3 Q (4-6月)		4 Q (7-9月)		5 Q (10-12月)		1 Q (1-3月)		2 Q (4-6月)		3 Q (7-9月)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
収 益	6,592	100.0%	7,069	100.0%	6,504	100.0%	6,762	100.0%	7,340	100.0%	7,292	100.0%	6,697	100.0%	6,898	100.0%
売上総利益	5,361	81.3%	5,699	80.6%	5,080	78.1%	5,363	79.3%	5,966	81.3%	5,982	82.0%	5,306	79.2%	5,231	75.8%
販売管理費	4,329	65.7%	4,300	60.8%	4,695	65.7%	4,553	67.3%	4,623	63.0%	4,725	64.8%	4,851	72.4%	4,759	69.0%
Non-GAAP 営業利益	1,076	16.3%	1,440	20.4%	378	5.8%	838	12.4%	1,359	18.5%	1,274	17.5%	493	7.4%	485	7.0%
営業利益	1,027	15.6%	1,347	19.0%	390	6.0%	822	12.2%	1,363	18.6%	1,259	17.3%	482	7.2%	450	6.5%
持分法投資利益	644	9.8%	474	6.7%	-75	—	313	4.6%	495	6.7%	615	8.4%	157	2.3%	144	2.1%
親会社の所有者 に帰属する 当期利益	583	8.8%	1,573	22.3%	-125	—	738	10.9%	1,550	21.1%	3,489	47.9%	516	7.7%	266	3.9%
【参考】売上高	31,683	—	34,346	—	32,277	—	34,118	—	37,295	—	38,822	—	34,788	—	35,273	—

35 四半期連結P/L (メディアプラットフォーム事業・非継続事業組替え後)



(単位：百万円)	FY2023										FY2024					
	1Q (10-12月)		2Q (1-3月)		3Q (4-6月)		4Q (7-9月)		5Q (10-12月)		1Q (1-3月)		2Q (4-6月)		3Q (7-9月)	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
収 益	428	100.0%	433	100.0%	574	100.0%	487	100.0%	463	100.0%	418	100.0%	515	100.0%	440	100.0%
売上総利益	348	81.2%	353	81.5%	443	77.1%	392	80.5%	345	74.6%	352	84.3%	410	79.6%	359	81.7%
販売管理費	377	88.1%	374	86.3%	422	73.6%	424	86.9%	391	84.3%	362	86.5%	422	81.8%	388	88.2%
Non-GAAP 営業利益	-29	—	-20	—	20	3.4%	-31	—	-46	—	-9	—	-11	—	-29	—

(単位：百万円)	2024年12月期 3Q末	2023年12月期 期末	増減
流動資産合計	43,291	43,683	-392
非流動資産合計	51,078	49,923	+1,155
資産合計	94,369	93,606	+763
流動負債合計	24,159	26,333	-2,174
非流動負債合計	1,434	1,569	-135
負債合計	25,593	27,901	-2,308
資本合計	68,776	65,705	+3,071
負債及び資本合計	94,369	93,606	+763

37 グループ理念体系

SEPTENI グループ理念体系

ビジョン

新しい時代をつくる人が育つ場となる
クリエイティビティとテクノロジーによって、
なめらかな未来へつながるドアを広げる

複雑化した世の中を、
デジタルの力で明るくシンプルに

ミッション

ひとりひとりの
アントレプレナーシップで
世界を元気に

バリュー

つよく、やさしく、おもしろく。

社是

ひねらんかい



グループ理念からミッションとビジョンをサステナビリティ方針として採用し、マテリアリティの見直しを実施

サステナビリティ方針

- ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に
新しい時代をつくる人が育つ場となる
- クリエイティビティとテクノロジーによって、なめらかな未来へつながるドアを広げる
複雑化した世の中を、デジタルの力で明るくシンプルに

サステナビリティ活動の推進

E

気候変動への対応

S

新しい時代をつくる人の育成による企業価値の向上

S

クリエイティビティとテクノロジーによるなめらかな社会の実現

G

非連続の成長を支える先進的なガバナンス体制の構築

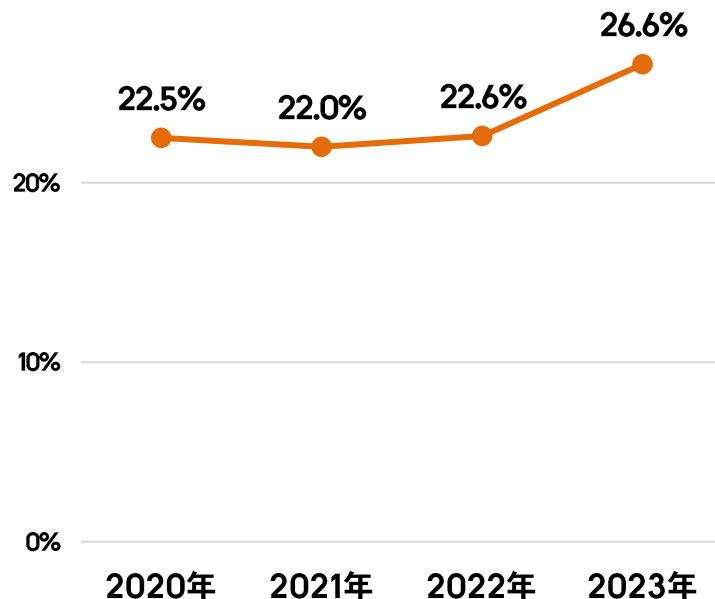
持続可能な社会及び当社のミッション・ビジョンの実現に向け、新たに4つのマテリアリティを特定

	マテリアリティ	マテリアリティの小区分	主なKPI
E	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動への対応 	<ul style="list-style-type: none"> GHG排出量の削減とTCFD提言に沿った情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までにスコープ1・2の排出量を70%削減
S	<ul style="list-style-type: none"> 新しい時代をつくる人の育成による企業価値の向上 クリエイティビティとテクノロジーによるなめらかな社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルHRによる再現性のある人材育成 DEI (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) アントレプレナーシップの民主化 なめらかな社会につながる価値創造 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年までに女性管理職比率を30%に向上 持株会入会率の継続上昇
G	<ul style="list-style-type: none"> 非連続成長を支える先進的なガバナンス体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 非連続の成長のための取り組み リスク低減のための取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 2024年までにイノベーション・ボードを実現 エグゼクティブセッション継続実施 実効性評価継続実施

当社グループにおいて特に優先度の高いマテリアリティである
Socialのなかでも人的資本関連のKPIを設定し、各種施策を推進

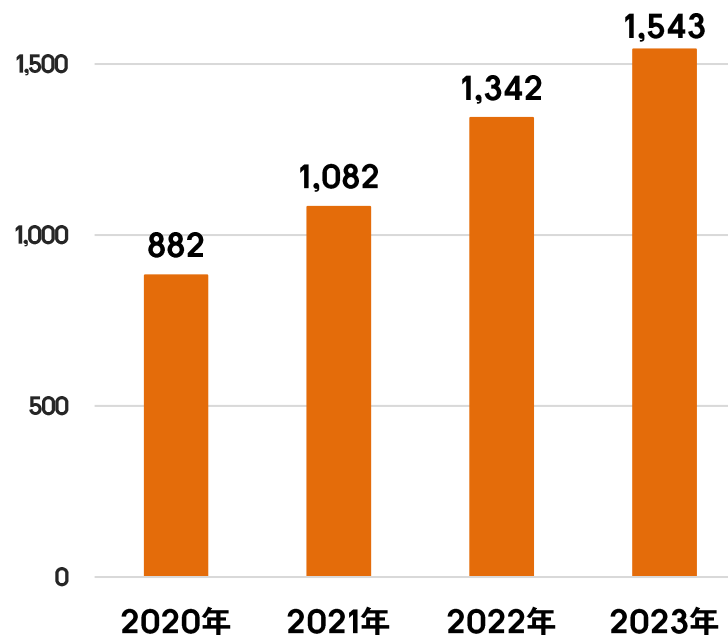
女性管理職比率※1

目標：2030年までに女性管理職
比率30%（国内全体）



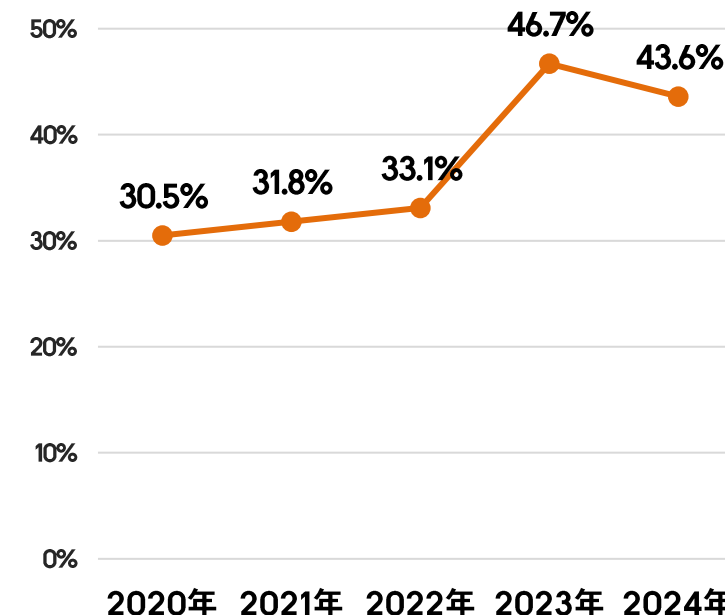
アントレプレナーシップを 育むイベントに参加した人数※2

目標：前年比増



従業員持株会入会比率 (対・対象会社正社員)

目標：前年比増



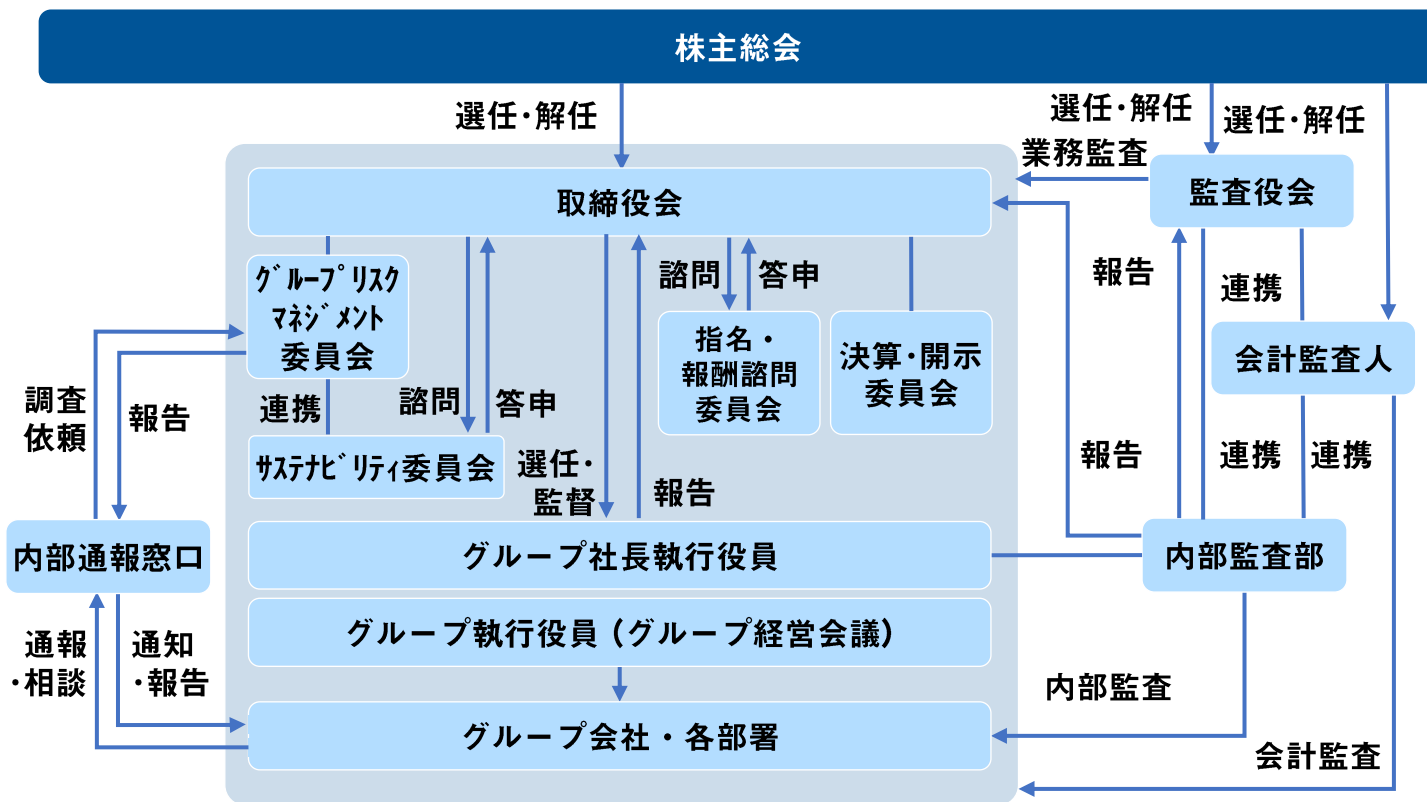
※1 国内主要会社、各年10月時点、※2 暦年での延べ人数

* ESG情報はこちらをご覧ください：<https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/esg.html>

41 コーポレートガバナンスの強化

企業理念に基づく行動及び透明公正で効率的な意思決定に加え、法令遵守と企業業績の適切な監督を目的とした体制の整備・運用に注力

コーポレートガバナンス体制図



ガバナンス改革の変遷

- | | |
|--------|---|
| FY2015 | ・ 社外取締役を指名 |
| FY2016 | ・ 取締役会実効性評価を導入
・ 各種委員会設置によるチェック機能の強化
・ 買収防衛策の廃止 |
| FY2017 | ・ 役員向け業績連動型株式報酬制度導入
・ 委任型執行役員制度の導入
⇒ 監督と執行の分離 |
| FY2022 | ・ サステナビリティ委員会の設置、ESGへの取り組み強化
・ 取締役の独立性・多様性をさらに強化
社外比率：5名 / 8名、女性取締役：2名 / 8名
(2024年11月7日時点) |
| FY2023 | ・ 指名・報酬諮問委員会を設置 |

42 事業区分別 主要グループ会社

2024年11月7日現在  SEPTENI

デジタルマーケティング事業

マーケティング・コミュニケーション



HIGHSCORE,inc



ダイレクトビジネス

dentsu
direct

dentsu
elfto architect

データ・ソリューション

FLINTERS



メディアプラットフォーム事業

vivivit



持分法適用関連会社

DENTSU
DIGITAL

PRIMECROSS



Human Capital Lab



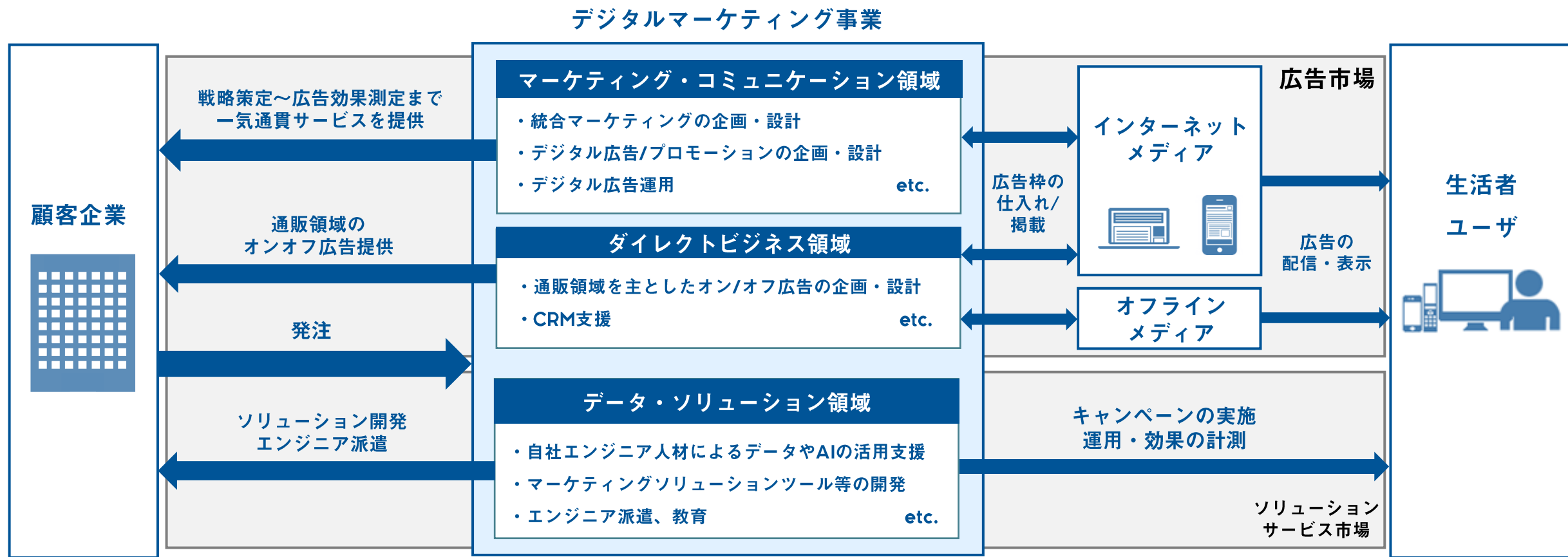
& and factory



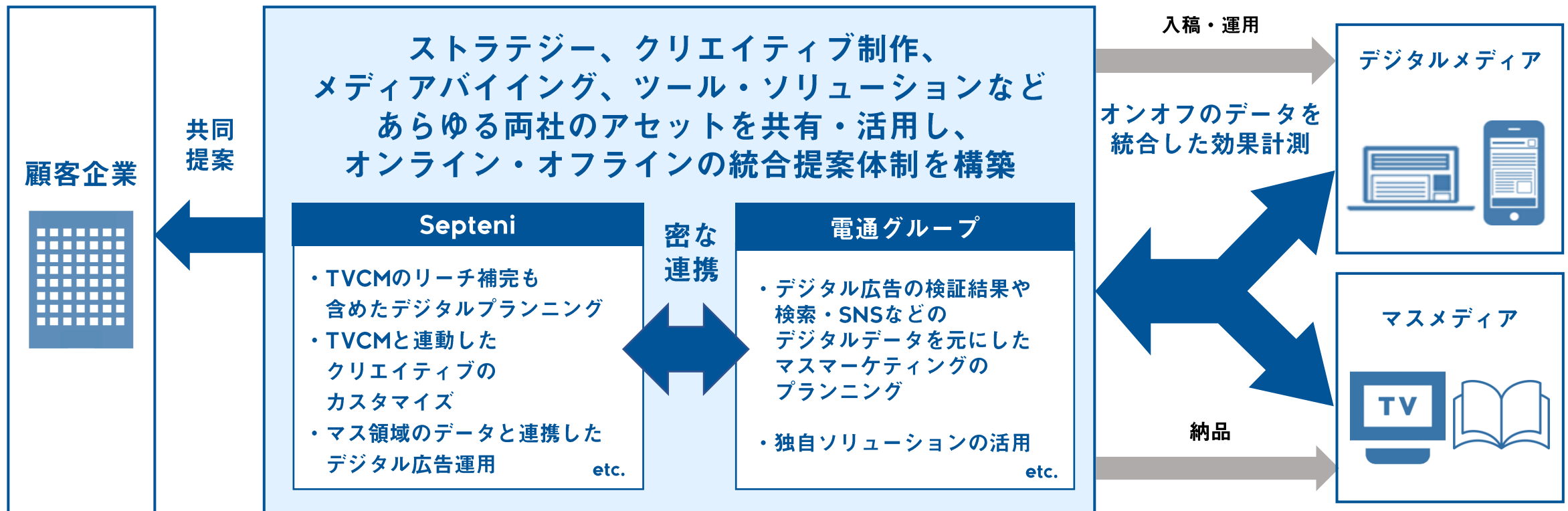
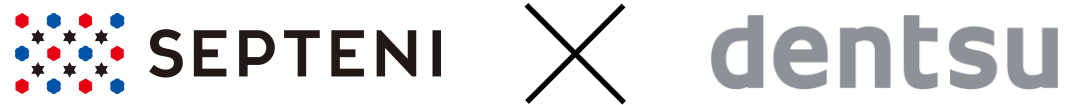
セプテーニ・ホールディングス (持株会社)

43 デジタルマーケティング事業 ビジネスモデル

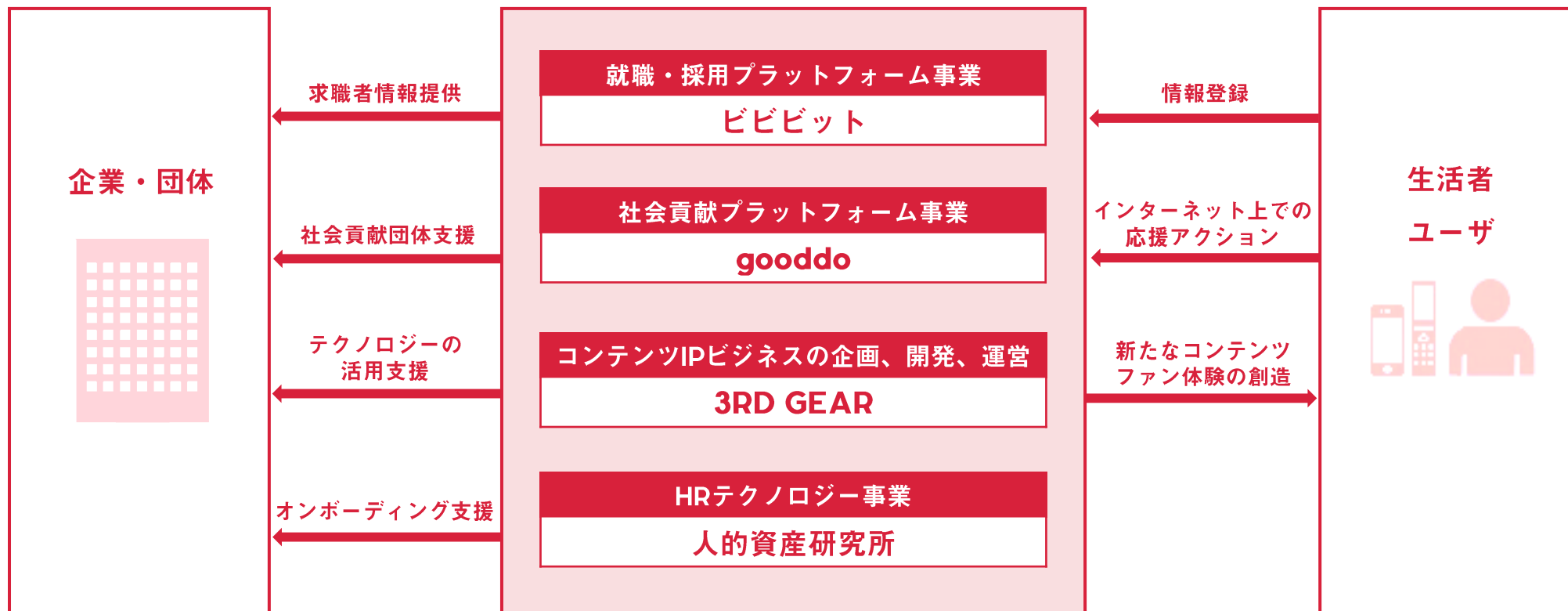
デジタル広告の販売と運用を軸としたオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援やデータ、AIを活用したソリューションの開発・提供等、マーケティング領域を中心に、企業のDXの総合的な支援を行う



両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の 統合マーケティング提案（イメージ）



社内ベンチャーから生まれた「就職・採用」「社会貢献」に関するプラットフォーム型の事業や、近未来の成長分野や社会課題に着目し、グループで保有する資産を飛び地の産業界で活用する事業等を展開





統合報告書2023

2023年度版統合報告書を発刊しました
当社グループの価値創造プロセスのアップデートや
新たな経営体制における経営、事業方針について紹介しています

詳細は当社ウェブサイト (https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/library/integrated-report/integratedreport2023_ja.pdf)
もしくは右のQRコードからご覧ください



セプターニHD IR Magazine

セプターニHD・IRマガジン

 Septeni Group 18本

セプターニグループ公式note

人やカルチャーにまつわる様々な取組みを
グループの公式noteで紹介しています
また、公式note内に「IR マガジン」を開設し、
株主・投資家の皆さまに向けた情報を発信しています

詳細は以下URL (https://note.com/septeni_group)、
もしくは右のQRコードからご覧ください

